読書感想文部門

●総評●

作文部門では入賞者のほとんどが小学生でしたが、読書感想文部門では入賞者に中学生が目立ちました。今年は、応募点数が昨年より六百点ほど増えたこともあり、全体的なレベルも向上しました。

読書感想文を書く前に、「どの本について書くか」を考えることは、とても重要です。そして、書いた後で必ず読み返して、むだな部分は省き、言葉が足りない部分は言葉を補います。「四百字詰原稿用紙五枚以内」という制限があるのですから、だらだらとあらすじを書いていては、自分の感動を書くスペースがなくなってしまいます。逆に、本の内容からかけはなれすぎると、読書感想文ではなく、作文になってしまいます。

読書感想文を読んだ人が、「この本を読んでみたい。」と思えるような作品を期待します。

文部大臣奨励賞受賞作品

私たちは今……。

「カワウソの消えた日」を読んで

岐阜県瑞浪市立瑞浪中学校　一年　須藤　香

「動物を守ろう」「動物を保護しよう」これは、数年前からよく耳にする言葉である。しかし、そう呼びかけている人々も、本当の意味で動物や自然を守っているかと言えば疑問である。

私達人間は、絶滅の危機に瀕している動物を保護しようと、捕まえてきてオリの中に入れる。しかしカワウソは言う。「これは保護ではなく捕獲だ。」と、「表面だけの保護だ。」と言うのである。私達人間から見ると素晴らしく良いことをしているように思える保護だが、それは錯覚した自己満足だと言うのである。

「カワウソの消えた日」を読んで私は、私達人間の愚かさを教えられた気がした。人間の錯覚した保護なんか動物のためになっていない。特に保・護と名のつくようなことをしなくても、動物が安心して暮らせる楽園を少しずつでもとりもどすのが、動物にとっても、私達人間にとっても大切なんではないかと思う。この動物達の楽園、つまり環境づくりこそ人間の果たすべき務めではないかと思うのである。

しかし、カワウソはこうも言う。「今の多くの人間の汚れきった考え方を少しずつ変えていかなければ……。地球に住むすべてのものことを考えられるように変えていかなければ、根本的な問題の解決にはならない。」と。

これはどういうことか。私達一人一人の考え方を改めなければ問題の解決にならないということである。人間は人間だけの利益を追い求めることをやめなければならないということなのである。

人間達がちっぽけな利益を求めることによって動物達は住む場所を奪われ、この世から次々と消えてゆきつつある。このことに人間は気付いているはずなのに、自分達の生活が便利で快適なものになっているので気にしないのである。

けれども、私達の生活が快適になったかわりに、大気汚染や水質汚濁、騒音などの公害が発生した。無計画な森林の伐採は近年地球の温暖化をまねき、フロンガスの使用は、オゾン層の破壊をまねいてしまったのである。

つまり、人間だけの利益を追い求めることは、実は利益になっていないということなのだ。人間は、このことに気付かなければならないのである。人間の身勝手がつくった様々な害は、絶滅寸前の動物達を増やしてしまうという結果をまねいた。

そして、それは多くの動物達を特別天然記念物に指定するという形になって表れてきた。しかし、特別天然記念物の動物が増えているにもかかわらず、人間は何一つ変わっていないのでは、今までと何ら変わるところがないのではないだろうか。

人間は、自分達だけの利益を追い求めるにあたって、その優秀な頭脳で、能率のいい機械や生活用品など、様々なものを開発してきた。さらに、人間は優秀な頭脳によって弱肉強食という自然界のルールからはみだすことを許されてきた。

しかし人間がその優秀な頭脳で本当に考えていかなければいけないことは、「地球全体の利益」「地球全体の幸せ」なのである。例えば、森林破壊を少しでも防ぐには、紙を再生紙にして使ったり、害の少ない洗剤などを開発して使う。他には、工場での水や煙などを浄化してから出したり、何らかの手をうたなければならないのである。

私は岐阜県の瑞浪市に住んでいる。まだ、取りたてて言うほど深刻な環境破壊はない。しかし、祖父から聞いたところによると、近頃、蛍が目に見えて少なくなったということである。祖父の幼かった頃は、夏、戸外に出れば、いくつもの蛍達が丸い光を放ちながらゆらゆらと飛んでいたそうだ。今日では、よくよく目を凝らして探さなければ見つからないほどになっている。

さらに山の中の小動物、例えばリスやイタチなどの類も、最近ではまったく姿を現さなくなったという。

将来、私が大人になり、私が母親になった時、子供に豊かな自然を体験させてあげたい。このまま、地球を人間だけの利益追求の犠牲にすることだけは断じて防がなくてはならない。そのために私は、いや私達は何をしなくてはならないか……。真剣に考えるべき時が来たのである。

●選評●

「カワウソの消えた日」の内容をよく理解したうえで、自分の感想を論理的に整理し、読み手によく伝わるように書かれています。語句の使い方も効果的です。今日的な問題を自分の手元にひきつけて、しっかりとした構成で書かれています。テーマは「保護ではなく捕獲」にしぼっており、文章もよくまとまっています。

最後の部分で「カワウソの消えた日」についてもう少しふれれば、もっと結論が鮮明になったと思います。

「正方形のますを使って」（愛知・愛宕小五年）落合真也・成瀬隆哉
「数の歴史」（東京・宮前中一年）佐野繁男・沼田英人

■優良賞
「長生きのひみつはこれ！」（岐阜・長良西小五年）辻陽平　「円の面積のひみつ」（愛知教育大学附属岡崎小五年）柴田絵美子　「本はあつかいやすい形？」（愛知・愛宕小六年）塩田泰三・市川雄規　「リヤカーの秘密をもとに正比例・反比例の性質に迫る」（愛知教育大学附属岡崎小六年）若原隆宏　「ぼくのお母さんは？」（東京・宮前中一年）村山さうら

■佳作
「いちばんおおくでるかずは？」（愛知・愛宕小一年）関根喜代美・松本知子　「ほんとうにほんがすきなのは？」（愛知・愛宕小一年）尾崎竜也・平岡優一・西村圭太　「病気・ケガ調べ」（愛知・愛宕小四年）伊藤万里子・酒井里佳　「数あてカード」（愛知・愛宕小五年）新美里佳・大内順子　「テレビのコマーシャル調べ」（愛知・愛宕小五年）加藤友里・武内ひとみ・橋本まどか　「消費税計算とグラフ」「愛知教育大学附属岡崎小六年）小山恵里果　「かな入力キーボードの研究」（東京・聖徳学園小六年）後藤啓太　「計算遊び」（東京・宮前中一年）広瀬鉄　「魔法陣の研究」（東京・宮前中一年）茂木康彦　「正負の数ファンタジーランドの謎」（東京・宮前中一年）松崎蒲

理科部門

■文部大臣奨励賞
「かにのかんさつ」（千葉・国分寺台小三年）柳池剛

■優秀賞
「おかしな　おかしな　おかだんごむしくん」（岐阜・長良西小一年）橋詰雄一郎
「しゃぼん玉のけんきゅう」（岐阜・柳津小二年）福井千穂
「ぽくと船」（東京・聖徳学園小四年）野瀬朗満

■優良賞
「おまめさん芽が出たよ」（神奈川・浜須賀小一年）葉山莉香　「イナゴはぼくの友だち」（京都・錦林小二年）野村智広　「トンボの研究」（宮城・中新田小四年）鈴木崇洋　「イモリの研究」（福井・中河小五年）滝谷豊　「茅ヶ崎市内のたんぽぽを調べて」（神奈川・室田小五年）手塚綾乃・中部麻紗子

■佳作
「かたつむりとあそんだよ」（岐阜・長良西小一年）服部麻理　「20日だいこんのかんさつ」（岐阜・長良西小一年）所裕高　「かたつむりの研究」（宮城・古川第二小二年）本田小織　「ぽくはだれにこにているのかな」（岐阜・長良西小一年）金保洋一郎　「大きくなあれ　ヘチマの実」（岐阜・柳津小二年）奥村裕美　「東川のかんさつ（水のよごれ）」（東京・聖徳学園小三年）高橋英哲　「かみのせいしつしらべ」（岐阜・長良西小三年）竹中綾香　「アリの観察」（愛知教育大学附属岡崎小五年）市川ヒロ子　「そばの肥料の種類と量による成長の研究」（長野・座光寺小）6年一組

「雲の流れを追って」（茨城・並木中一・二年）科学部

図画・絵画部門

■文部大臣奨励賞
「シャワー」（広島・二河小一年）小林亮太

■優秀賞
「ぽくの町の魚屋さん」（広島・下黒瀬小二年）上岡大介
「ザリガニとあそんだよ」（宮城・中新田小二年）佐藤実奈
「線の学習とスケッチ」（岐阜・東長良中一年）杉山康介

■優良賞
「パンの森」（大阪教育大学教育学部附属天王寺小三年）増村靖子　「ちち牛」（徳島・御所小四年）岩野美香　「音戸大橋」（広島・昭和北小四年）山田純也　「春をはこぶ神様」（富山・東部小四年）富川美幸　「組み合わせの絵」（宮城・中新田小六年）今野大樹

■佳作
「自由画（はなび）」（広島・下黒瀬小一年）中満映里　「水泳」（広島・下黒瀬小一年）福永亮　「かいすいよく」（岐阜・竹原小一年）河村知治　「夏休み体験作文」（岐阜・竹原小二年）小畑義孝　「はり絵」（愛知教育大学附属岡崎小三年）神谷孝生　「花火」（岐阜・柳津小三年）小川知愛　「お祭りの夜」（東京・若杉小三年）米屋裕子　「九さいのわたし」（岡山・遷喬小四年）森江真巳　「ステキな森」（富山・東部小四年）石原恵子　「おばあちゃんの畑」（福岡・中間東小六年）織間友絵

技術・家庭科部門

■文部大臣奨励賞
「私のお料理教室」（岐阜・長良西小五年）山田恵子

■優秀賞
「せんたくもののかわき方」（岐阜・春日小四年）岡山法子
「紅茶」（岐阜・巣南中二年）久世朋実
「パッチワークのかばん」（岐阜・巣南中二年）村瀬麗子

■優良賞
「野さいとお友だち」（岐阜大学教育学部附属小一年）近藤恵美　「パッチワーク・パインツリー」（岐阜・長良西小三年）所佳保里　「パスケットの中の野菜とくだものたち」（東京・椛谷小四年）笹山京子　「とみひろさんのがくあじさい」（岐阜・日吉小四年）安井祈　「草木染めPart3」（神奈川・松浪中三年）神保愛子

■佳作
「こうせいちゃく色りょう」（岐阜・長良小二年）小林大輔　「わたしはコックさん」（岐阜・柳津小二年）後藤亜季子　「楽しいお弁当」（東京・余丁町小五年）服部由美　「食物調べについて」（岐阜・長良西小五年）河端誠　「マスコット作り（私の家族）」（岐阜・春日小五年）川村有希　「エプロン作り」（岐阜・柳津小五年）古沢唯　「くみひものネックレス・イヤリングセット」（岐阜・高田中一年）安井真示　「玉ネギの皮で布を染める」（東京・国学院久我山中二年）横内宏至　「牛乳について」（岐阜